

第 1 章 目指す都市像

1 基本理念

『千歳』は「鶴は千年、亀は万年」という故事にちなんで命名され、村民総出の労働奉仕により歴史に残る着陸場を造りました。

多くの先人が時を重ねて守り育ててきた数々の貴重な財産は、新たな魅力を加え、その開拓精神は、市民協働によるまちづくりへと受け継がれています。

今日、経済情勢の変化や国際化、情報化の進展、人口減少社会の到来、地域主権型社会への移行、市民のライフスタイル^{*}の多様化、少子高齢化など千歳市を取り巻く社会経済環境は大きく変貌し、新たな課題が発生してきています。

こうした課題に対応するためには、新千歳空港や支笏湖など、千歳市が持つ特性や資源、都市基盤などを有効に生かした施策の展開が一層重要となっています。

平成19年(2007年)4月には、市民と行政が協力してまちづくりを進めることが必要との考えから、「みんなで進める千歳のまちづくり条例」を施行し、以来、その実践に取り組んできました。

『まちの資源は“ひと”』です。市民が、お互いに助け合い、元気に輝き、調和を図っていくことが、活力あふれるまちづくりの原動力となります。

本計画においては、これまでのまちづくりの足跡と時代の潮流を踏まえ、郷土の更なる発展と住みよさを実感し誇りを持てるまちの実現に向けて、まちの活力が市民との協働により持続し、都市として安定的な発展を続けながら質的な成熟を図っていくことを基本理念とします。

みんなで進める千歳のまちづくり条例

<平成19年(2007年)3月6日条例第3号>の前文より抜粋

現在、少子高齢化の進展などにより社会・経済状況が変化する中で、ゆとりや生活の向上を求めて市民の価値観が多様化・複雑化し、特色あるまちづくりが求められています。

このような状況の中で、住みよさを実感し、誇りを持てるまちを実現するためには、これまで行政が担ってきた公共の分野に市全体で取り組むことが求められ、市民が自主的なまちづくり活動を行うとともに、これまで以上に市民のニーズを反映しながら行政活動が行われることが重要となっています。

かつて、私たちのまちでは、村民総出で無償の汗を流して抜根と整地を行い、広大な火山灰地に着陸場をつくりました。自分の持っている知識や能力を生かし、社会貢献したいという市民の意識の高まりがみられる今こそ、「事に当たって一致団結する」先人たちの精神を呼び覚まし、みんなで力を合わせ、知恵を出し、汗を流すことが求められています。

それは、本来のまちづくりの姿であり、千歳が目指す「みんなで進めるまちづくり(市民協働によるまちづくり)」です。

2 将来都市像

基本理念に基づき、まちの活力と発展が持続することを目指す千歳市の将来都市像を次のとおりとします。

『みんなで生き生き 活力創造都市 ちとせ』

「みんなで」……市民・市民団体・事業者・行政がそれぞれの役割を果たしながら連携してまちづくりに取り組み（市民協働）、そのことが市民やまちの活力が生まれる推進力となること。

「生き生き」……子どもから高齢者までの様々な市民が、健康で元気にあふれて活動し、社会の中においてその人らしい生活を送ることができること。

「活力創造都市」……千歳市が持つ特性や資源、都市基盤を生かし、市民が生き生きと活動し、盛んな企業活動が行われ、まちの勢いがあり、さらにそこから新たな活力が生まれる都市。

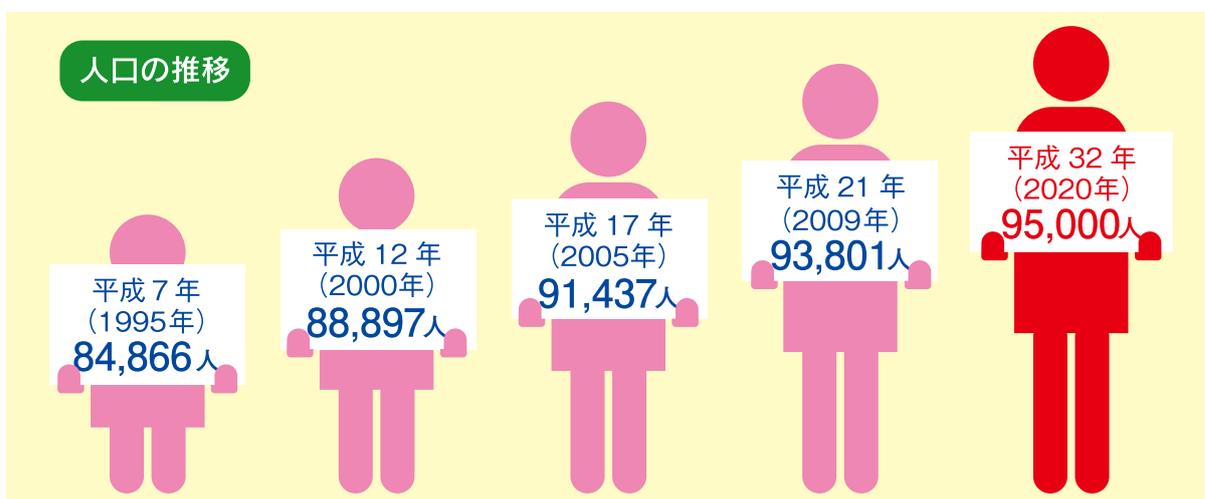
3 将来人口

本計画の目標年次である平成 32 年度（2020 年度）の人口については、次のように設定します。

千歳市では、恵まれた生活環境や立地条件などを背景に都市基盤の整備を進める一方、各種産業の振興を促進してきた結果、今日まで人口の増加が続いています。

全国的には平成 17 年度（2005 年度）から人口減少社会に突入し、年々人口が減少しており、千歳市の人口も、少子高齢化による影響から将来的には減少に転ずることが見込まれていますが、当面は増加が続くものと推測されます。

本計画においては、まちの活力を持続させていくために様々な取組を進めることにより人口増加を維持し、平成 32 年度（2020 年度）の人口を 95,000 人と設定します。



※平成 7 年、12 年、17 年は、国勢調査（10 月 1 日）の数値
 ※平成 21 年は、10 月 1 日現在の住民基本台帳と外国人登録名簿の合計数値

4 土地利用の基本方針

(1) 土地利用の基本方向

千歳市は、東西に細長い行政区域を持ち、東から西に向かい、生産性の高い「農業地域」、空港や鉄道を中心に人口の9割以上が居住する「都市地域」、山岳、湖などの自然環境に恵まれた国立公園支笏湖をはじめとして広大な国有林等を主とする「森林地域」及び「自然公園地域」で構成されています。

また、市街地の東・西・南の三方に防衛施設が位置しているとともに、国・公有地が総面積の約75%を占めていることなど、土地利用が制限されていることが千歳市の特徴となっています。

近年の少子高齢化・人口減少、経済等のグローバル化^{*}、地球環境問題の進行等を背景に、持続可能なまちの発展を目指すためには、自然環境の保全を図りつつ、有効かつ適切な土地利用を進めていくことが重要です。

このことから、土地利用の基本方向を次のとおりとします。

- 1 環境と経済の調和を基本とし、市民が生き生きと暮らし、各種の産業が展開できる社会の実現を目指し、各地域の特性などを十分に踏まえながら、都市地域・農業地域・森林地域及び自然公園地域ごとに土地利用の質的向上を図ります。
- 2 自然環境の保全を図りつつ、市民の生命及び財産を災害から守り、安全な生活を確保するための都市基盤の整備について、総合的かつ計画的に進めます。
- 3 少子高齢・人口減少社会に対応したまちづくりに向けて、教育、医療、商業などの既存の施設や土地などを有効活用し、安定的かつ成熟した都市形成を推進するとともに、市街地の無秩序な拡大を抑制します。

(2) 地域類型別の土地利用の基本方向

都市地域、農業地域、森林地域及び自然公園地域の土地利用の基本方向は、次のとおりとします。

① 都市地域

- 市街地については、少子高齢化・人口減少の進展等の中で、環境への負荷^{*}の少ない豊かで暮らしやすい都市形成を目指し、安全で快適な都市生活のために必要な都市機能の適正配置や既存の施設・土地などの有効活用、利便性の良い交通環境の確保を推進します。
- 住宅系市街地及び商業系市街地については、拡大を抑制することとし、未利用地の有効利用を推進することを基本とします。
- 工業系市街地については、今後も企業誘致を推進し多様な産業の集積を目指し、未利用地の有効活用を進めるほか、地域産業の活性化等を踏まえ、新千歳空港周辺の都市的土地利用の可能性について検討します。
- 自然災害などに対する安全性を高めるとともに、地域の実情を考慮しながら、災害に強い都市構造の形成を図ります。
- 良好な都市景観の創出などにより、美しくゆとりある都市環境の形成を推進します。

②農業地域

- 生産性が高く魅力ある農業経営を目指すため、土地改良や排水整備など優良農地の確保に努めます。
- 農村における景観や生態系の維持・形成を図るとともに、適正な農用地利用に配慮しながら、地域資源の特性を生かした都市と農村の交流を促進する環境づくりに努めます。

③森林地域及び自然公園地域

- 国立公園である支笏湖及びその周辺地域については、貴重な動植物、山岳、湖沼、景観などを有しており、優れた財産として保護するとともに、エコツーリズム[※]などにおける自然体験・学習等の場として節度ある利用を促し、環境との調和に努めながら計画的な利用を図ります。
- 国有林をはじめとする原生的な森林や貴重な動植物が生息・生育する森林については、自然環境の維持と保全に努めます。
- 国立公園以外の良好な自然を形成している地域については、将来にわたって市民がその恵みを享受できるよう、自然環境の適切な保全に努めるとともに、自然環境との調和を保った適切な利用を図ります。



市街地

用語解説

- ライフスタイル……………生活の様式や営み方に加え、人生観や価値観、習慣などを含めた個人の生き方や考え方のこと。
- グローバル化……………人々の行動や経済活動、情報通信などが国境を越えて、地球的規模、地球的視野で行われるようになること。
- 環境への負荷……………人の活動により環境に加えられる影響であって、環境の保全上の支障の原因となるおそれがあるものこと。
- エコツーリズム……………自然環境や歴史文化を対象とし、それらを体験し、学ぶとともに、対象となる地域の自然環境や歴史文化の保全に責任を持つ旅行形態のこと。

第 2 章

まちづくりの基本目標

本計画が目指す将来都市像を実現していくため、次のようなまちづくりの基本目標を定めます。

第1 あったかみのある地域福祉[※]のまち

- 世代や性別、障がいなどにかかわらず、すべての市民が主役となり、地域でお互いに支え合いながら、心の豊かさやゆとりある生活が実現でき、安心して暮らし続けられる、あったかみのあるまちづくりに取り組みます。
- 市民一人ひとりが主役となった健康づくりや疾病予防対策を進めるとともに、地域の医療水準の向上を図りながら、医療体制の充実に取り組みます。
- 高齢者や障がい者が安全に安心して自立した生活を送ることができる地域づくりを進めるとともに、未来を担う子どもたちの健全な育成を図り、安心して子どもを産み育てることができるように地域全体で子育てを支援するまちづくりに取り組みます。
- 市民が安心して快適な日常生活を送れるよう市民生活の安定を図るとともに、だれもが住み良さを実感し、支え合うコミュニティづくりに取り組みます。
- 男女が性別にかかわらず、互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合う男女共同参画社会の実現に向けて取り組みます。

第2 人と地球にやさしい環境のまち

- 地球温暖化防止に向けて、環境に配慮した行動の啓発を進めながら、環境学習の推進を図り、地球環境の保全と低炭素社会[※]の形成に取り組みます。
- 資源の消費抑制・有効活用による環境への負荷[※]低減や環境保全を進めるため、資源の有効活用を推進する循環型社会[※]の形成に取り組みます。
- 市民の快適な暮らしを支えるため、豊かな自然環境の保全と環境汚染等の未然防止に努め、生活環境の向上に取り組みます。

第3 安全で安心して暮らせるまち

- 市民の生命及び財産を守るため、市民の防災意識の向上や防災訓練への参画を促すとともに、治水の推進を図るなど、あらゆる災害に対応できる総合的な防災対策の強化に取り組みます。
- 地域における防犯や交通安全、子どもや要援護者の安全確保を図り、市民が安心して暮らすことができる地域社会の実現に取り組みます。
- 複雑多様化する各種災害への対応力を強化するため、消防・救急体制の充実に取り組みます。
- 防衛施設や航空機の飛行、車両の走行等に起因する諸障害については、関係機関との調整を図りながら、その改善に取り組みます。
- 住環境の整備や安全で安定的な水道供給の充実を図るとともに、快適で安全な冬季間の生活・交通環境を確保するため、効果的な除排雪に取り組みます。

第4 学びの意欲と豊かな心を育む教育文化のまち

- 社会の変化と個々のライフスタイル^{*}の多様化の中で、市民一人ひとりが時代に柔軟に対応して、自ら課題を解決し、また、学んだ成果を地域で生かす生涯学習のまちづくりに取り組みます。
- 子どもたちの豊かな心と生きる力を育むため、幼稚園、小中学校、高等学校など、様々な段階における学校教育と生涯にわたる学習ニーズに応じた社会教育の充実に取り組みます。
- 個性を生かした文化の創造やスポーツの振興、貴重な文化財の保護と活用、未来を担う心豊かな青少年の育成を図るとともに、姉妹都市をはじめ国内外の様々な地域との交流を促す環境づくりに取り組みます。

第5 活力ある産業拠点のまち

- 経営の安定化や担い手の育成・確保など農林業の振興を推進するとともに、千歳市特有の水産資源の保護と増殖に取り組みます。
- 千歳市が持つ、空港を核とした交通の利便性や立地条件の優位性等を生かし、商業の振興や流通機能の充実を図るとともに、企業誘致の推進、高度技術産業や新産業の集積に取り組みます。
- 千歳市の特性や資源を生かしながら、多様化するニーズに対応できる観光の振興を進めるとともに、だれもが健康で安心して働くことのできる就業の場の確保と雇用の安定に取り組みます。

第6 都市機能が充実したまち

- 長期的な視野に立ち、計画的な土地利用と魅力ある市街地の形成を推進するとともに、まちのにぎわいを再生し、だれもが安全で快適な都市生活を営むことができるよう、安定した地域社会の形成を目指し、コンパクトで成熟した都市づくりに取り組みます。
- 空・陸の交通拠点機能に優れた千歳市の特性を生かし、新千歳空港や道路などの交通機能の充実と公共交通の利便性の向上を図るとともに、各種都市機能の充実に取り組みます。
- 緑地の保全と緑化の推進を図り、市民が緑と親しみ、ふれあう機会の確保に取り組みます。

用語解説

地域福祉……………地域で人々が安心して暮らせるよう、地域の住民や社会福祉関係者などが協力して福祉の向上に取り組むこと。

低炭素社会……………地球温暖化の主要な要因である二酸化炭素の排出量が少ない社会のこと。

環境への負荷……………人の活動により環境に加えられる影響であって、環境の保全上の支障の原因となるおそれがあるものこと。

循環型社会……………様々な活動を通じて、資源やエネルギーの循環と消費の効率化を進め、廃棄されるものを抑制し、環境面への悪影響をできる限り少なくすることを目指す社会のこと。「消費型社会」の反対の意味。

ライフスタイル……………生活の様式や営み方に加え、人生観や価値観、習慣などを含めた個人の生き方や考え方のこと。

第 3 章

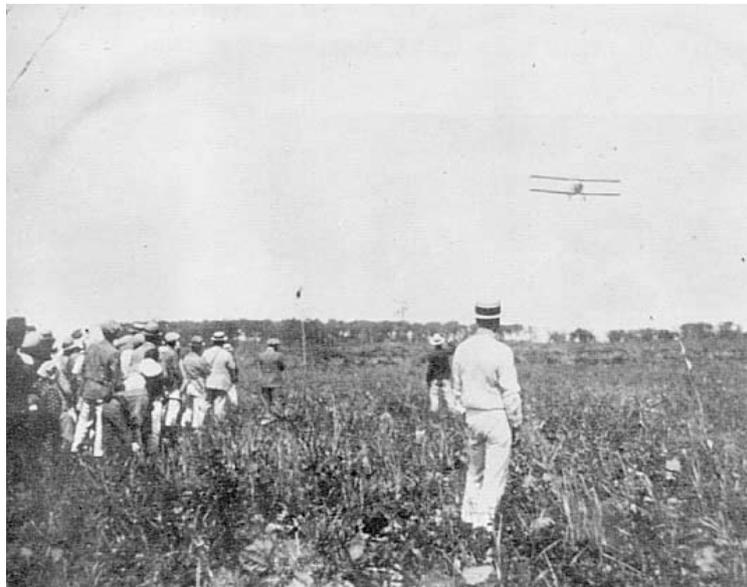
行政経営の基本目標

本計画を着実に進めていくため、次のような行政経営の基本目標を定めます。

市民協働による自主自立の行政経営

※「市民協働による自主自立の行政経営」とは、行政運営を「行政管理」から時代に即した総合的な視点で行う「行政経営」に転換し、市民等と市がそれぞれの役割を持ってお互いに協力し、自分たちのまちのことは自分たちで決めて、責任を持ってまちづくりに取り組むものです。

- 市民と行政が良きパートナーとしてそれぞれの特性や役割を理解し、対等の関係で市民協働によるまちづくりに取り組みます。
- 地域経済や地域活動、コミュニティの形成に大きな役割を担っている自衛隊と共存し、発展していくことを目指すまちづくりに取り組みます。
- 効率的、安定的な行財政運営や連携による広域行政を推進し、地域主権型社会に対応できる自主自立のまちづくりに取り組みます。



千歳着陸場に飛来する飛行機を迎える村民

基 本 計 画



